



一般社団法人 日本物流団体連合会  
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013  
東京都千代田区霞が関 3 丁目 3 番 3 号  
全日通霞が関ビル 5 階  
TEL: 03-3593-0139  
FAX: 03-3593-0138  
URL: www.butsuryu.or.jp

## News Release

令和 3 年 1 0 月 2 1 日

### 第19回「物流連懇談会」を開催

(一社) 日本物流団体連合会 (池田潤一郎会長) は、10月20日 (水)、東京都千代田区の学士会館において、第19回「物流連懇談会」を開催した。この物流連懇談会は、物流業界の幅広い会員の参加を得て、会員への情報提供、会員相互の情報交換・交流のために行われている。緊急事態宣言が全国的に解除された後ではあったが、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、対面にて開催する運びとなった。今回は、日本通運株式会社 代表取締役副社長である石井孝明氏から「安心・安全な医薬品サプライチェーンの構築を目指して」と題する講演が行われ、会員企業の代表者や幹部など72名の参加があった。

冒頭、池田物流連会長の挨拶ののち、講演会が始まった。

講演では、同社が医薬品物流に取り組む理由として、ESG経営という視点だけでなく、医薬品業界全体のニーズとして高品質で安定的かつグローバルな物流システムが求められていることなどを挙げ、これまで約5年間にわたり、全社一丸となって、医薬品物流の全体最適を実現するサプライネットワークの構築に取り組んでいるという説明があった。

グローバルな医薬品物流のプラットフォームの構築に当たっては、世界共通の品質管理基準を満たすため、世界保健機関の医薬品の品質保証基準 (GDP) に準拠した複合的な物流の管理システムを新たに開発したことを明かした。

このプラットフォームをオープン化して展開することにより、複数の世界的医薬品メーカーの原材料輸送、製品の保管、輸送におけるグローバルな共同配送を実現し、世界的な医薬品物流分野においてデファクトスタンダードを確立していくという長期的なビジョンも示された。

講演後の質疑応答では、受講者から、なぜISOではなくGDPの準拠を目指したのか、共同配送にあたり相反する輸送ニーズがある場合の対応など、についてどのように課題を解決していったのかといった踏み込んだ質問があったが、ひとつひとつ丁寧にかつ詳細に回答する石井副社長の熱い姿勢が印象的であった。

以上

担当：栗山



池田会長の挨拶



講演する石井副社長



講演会風景



活発な質疑応答